



ひだまり

第12号

理事長あいさつ

日頃から、社会福祉法人うまぐりの里の事業運営に対し深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この度、令和6年6月23日付で、理事長に就任いたしました。

現在、当法人では、多機能型事業所ゆーあい工房で、生活介護事業・就労継続支援事業(B型)・日中一時支援事業を、また、共同生活支援事業(介護包括型グループホーム・なごみの家)と指定特定相談支援事業(めだか)の5事業を展開しており、今年度(令和6年度)には、新たな共同生活支援事業のための施設整備に着手する予定であります。

これまでのコロナ禍による社会活動の制限や諸物価高騰などの社会情勢のなか、それぞれの事業の運営は大変厳しい状況となっております。

法人としましては、『ゆーあい工房は、利用されるすべての皆さんが、楽しく働き、自立への道を歩めるよう支援します』の運営理念を基本に、利用者の幸せを第一に考え、事業所に通う仲間たちと職員の笑い声の絶えない事業所運営と地域の皆様に信頼され且つ開かれた事業所となるよう努めながら利用者支援に努めていきたいと考えております。

そのためには、法人が安定して継続した運営が不可欠でありますので、引き続き皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

うまぐりの里理事長 岡田 武夫

岩川前理事長あいさつ

平成27年から「うまぐりの里」理事長職を務めさせていただきましたが、この度辞職いたしました。皆様には長い間、大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。

ゆーあい工房は、利用者・保護者・職員が三位一体となって、楽しい職場環境が作られておりました。何もできない理事長でしたが、優秀な職員と理解ある協力者の保護者の力添えにより、9年間も務めることができました。ありがとうございました。

来年は、待望の「第2グループホーム」が開所される予定です。「うまぐりの里」の事業規模がさらに拡大されますが、皆様の温かい愛情により、益々健全に発展されますようお祈り申し上げます。

うまぐりの里前理事長 岩川 和男

「第2グループホームがよいよスタート」

昨年度採択されなかった国県の社会福祉施設等施設整備補助金に、今年度も申請をしたところ、6月30日付で内示の通知をいただきました。

令和元年12月から、法人のグループホーム整備(検討)委員会で16回、グループホーム整備職員部会で34回の会議を重ね検討してきました。建設予定地の選定や建物の設計、資金計画などについて検討する中で、委員の方々から様々な意見が出され、なかなかまとまらず結論に至らなかった会議も度々ありました。また、建設予定の場所に埋蔵文化財が発見され、せっかく決まった平面図の見直しを余儀なくされるなど、諸手続きを進めれば進めるほど課題に直面しましたが、その都度委員のみんなでご検討し、乗り越えてきました。

補助金の内示通知を受け、これから、より具体的に事務を進めていくこととなります。協議を重ねていく上で、難しい決断を迫られる場面もあるかもしれません。その時には、利用者のことを第一に考えることを忘れないようにして、第2グループホームのオープンに向けて、頑張っていこうと思います。第2グループホームは、災害時に活用する避難スペースや短期入所用の1部屋を備え、誰でも困った時に使えるグループホームをコンセプトにしていますので、入居するしないに関わらず、これまで同様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

保護者会会長あいさつ

保護者会総会開催のご報告と今年度の事業計画について

法人関係者の皆様には、日頃より保護者会の活動にご理解とご協力を頂き大変有難うございます。

去る4月27日(金)に、ここ数年と同様にゆーあい工房ホールにて2024年度保護者会総会を開催致しました。

当日はゴールデンウィークの初日でしたが、25家族の保護者の皆様にご参加を頂き議題の審議をすることができましたので、その内容につきましてご報告申し上げます。

昨年度は、計画した事業のほとんどを実施することができましたが、クリスマス会がコロナ感染症の影響から利用者と職員だけでの実施となってしまいました。今年度は世の中の傾向がアフターコロナに向かっていることから、ゆーあい工房の行事日程と連携して極力、従来通りの内容での事業を計画させて頂きました。

5月19日(日)には、実に5年ぶりとなる飲食を伴った「工房まつり」を実施することができました。また7月6日(土)には猛暑の中でしたが「運動会」を栃木市総合運動公園体育館にて開催しました。その後は、9月28日(土)に「日帰り親睦旅行」を、年末には「クリスマス会」も計画しております。それぞれの事業の実施日が近づきましたら改めてご案内を差し上げますので、その際には是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

なお遅くなりましたが、今年度改選されました役員を次の通りご紹介させて頂きます。

【会長】佐野(再任) 【副会長】大塚(再任) 【会計】阿部(新任)

【監事】長(新任)、大浦(新任) 【理事】臼井(再任)、針ヶ谷(新任) 【顧問】安生(再任)

(敬称略)

これから2年間宜しくお願い致します。

ゆーあい工房保護者会会長 佐野 義晴

ゆーあい工房まつり2024

今回、私はゆーあい工房祭りの実行委員長を務めさせていただきました。コロナ禍を経て、数年間開催できない期間があり、昨年は縮小開催としました。そして、今年は更に枠を広げたゆーあいまつりを実現することができたことを大変うれしく思います。

初めての実行委員長という大役!!! 右も左もわからず右往左往する中で、保護者会役員の方々や、まつり実行委員会の大先輩方。ボランティアスタッフの温かいサポートに支えられ、無事にお祭りを成功させることができました。

まつりを終え当日を振り返り思い出すのは・・・北武井地区お囃子保存会の心躍るお囃子に、まつりの度に心を和ませてくれる佐々木金蔵さんのピアノ演奏。皆さんが嬉しそうに会食していた、保護者会の美味しいカレーと焼きそば。唐沢バンドさんのカントリー調の演奏に体を揺らしながら拍手を送っていた観客の皆さん。そして、一番の思い出は当日の仲間たち、参加者の笑顔です。その笑顔を見ることで、最後まで終わるだろうかと不安に思っていた気持ちがすっと晴れました。

皆さんと一緒に作りあげた「ゆーあいまつり」。ご協力いただいた全ての皆さんに感謝申し上げます。

生活支援員 小林倫子



無学文盲

本格的に暑くなり、いよいよ今年も球児の夏がやってきました。かくいう私も20年前は、クリクリの丸坊主姿で、毎日飽きもせずボールを追いかけていた高校球児でありましたので、毎年この時期を楽しみにしています。

さて、栃木県よりも一足先に始まった西東京都予選では、青島特別支援学校が初めて単独チームでの予選出場を果たし話題となりました。結果は0-66と完敗ではあったものの、将来の学生スポーツの在り方に一石を投じたのではないのでしょうか。

技術の差はあれども野球を愛する気持ちは平等であって、純粋に甲子園に恋焦がれる事が許されるのはこの年代だけに与えられた特権のようなもの。ですからそこには障がいの有無は本来無関係なのだ、お恥ずかしながら澆漑とプレーする青島ナインを観ていて気付かされました。

キャプテンの子は試合後に「野球は僕の人生を変えてくれた」と涙ぐんだそうですが、この日仲間全員で奪った15のアウトは彼らにとって間違いなく価値のある財産になった事でしょう。

安全面への配慮やルールの改正、また偏見の目など、課題はまだまだありそうですが、いつかこのようなニュースが特別なものではなくなる時代が来ればいいなと、切に思います。

うまぐりの里 監事 内海裕介

コラム「虹色のペンシル」第13話

『我が家のアイドル』 田村浩美(拓也母)

愛嬌で息子の拓也をはるかに上回り、癒しを家族にふりまく愛犬“ブラッキー”は我が家のアイドルです!!黒のトイプードルで男の子の12歳!生後3ヵ月に我が家にきて家族の一員となり早12年、人間でいうと64歳になるそうです。ワンちゃんは、7歳頃からシニア期に入るのでもうすっかりおじいちゃん犬ですね。

拓也は、ブラッキーの事を好きでも嫌いでもない無関心状態ですが…拓也がテレビの前に横になっているとふっくらお腹の上に乗ってちょこんと座っているブラッキーがいても騒ぐこともないので嫌いじゃないのでしょう。

最近、ブラッキーの歩き方がおかしくトイレも上手にできなくなったので、病院で診ていただいたら腰が悪いとのこと!!腰にレーザーをあてて治療していただき「絶対安静」と言われケージの中に入ったままです。前日まで元気におもちゃで遊んでいたのにブラッキーの変わり様に驚きでした。

私達夫婦もシニア世代に入りペットと同じ様に年相応につれ健康状態に気をつけて生きがいを感じながら過ごしていきたいと思います。



「つばやき」

私の趣味は舞台鑑賞です。舞台鑑賞の面白さは、やはりその場のライブ感にあります。お笑いライブでは、その瞬間に生まれるアドリブや観客とのやり取りが特に楽しく、皆で一緒に笑うことで一体感を感じられます。舞台上で繰り広げられるユーモアに、自然と笑いがこぼれ、場内全体が温かい雰囲気になります。ミュージカルは、豪華な衣装やセット、感動的な音楽とダンスが目の前で繰り広げられて、その世界に引き込まれます。役者たちの迫力ある演技や美しい歌声が、心に直接響いてきます。

どの公演も同じものではなく、その時その場所だけの特別な体験ができるのが魅力です。さらに、同じ作品でもキャストや演出が変わると全く違った印象を受けるので、何度見ても新しい発見があります。舞台鑑賞は、まさにその瞬間を楽しむ特別な時間で、心に残る思い出がたくさん作れます。観客と出演者が一体となって作り上げるその瞬間は、二度と同じものではなく、だからこそ貴重で感動的です。映画やテレビでは味わえない、ライブならではのドキドキや感動がたくさん詰まっています。ぜひ一度、足を運んでその魅力を体験してみてください。

生活支援員 町田真理子



第15回ゆーあい工房運動会

7月6日(土)に栃木市運動公園内サブ体育館にて、第15回ゆーあい工房運動会が開催されました。競技担当としては暑さがとにかく心配で、前日まで天気予報とにらめっこしていました。でも、みんなすごく楽しみにしているし……。ということで急遽、競技内容を簡素化し時間短縮で行うことに決めました。急な変更にも関わらず、参加された皆さんが納得し協力してくれて大変ありがたかったです。お陰様で事故ケガなく、大きく体調を崩される方もなく、予定していた競技をスムーズに進めることができました。

参加された皆さん、競技内容はいかがでしたか？(新)皿返しではテーブルの上での熱い戦いに燃えました！新しく加えたボール運びリレーでは、思いのほかみなさん慎重で、カゴからボールが落ちずにリレーし驚きました。

ほとんどの方がどの競技にも参加し、楽しんでもらったのではないのでしょうか？

そして、準備から片付けまでご協力いただき、さすがゆーあい工房の団結力とうれしくなりました。これがゆーあい工房運動会の醍醐味ではないかと思っています。

最後に、1日穏やかににこにこした笑顔がたくさん見られ、楽しい運動会となりましたこと感謝いたします。暑さに熱さで勝てた運動会、大満足です。来年は時期や場所の見直しをして、またみなさんが元気に参加できるように準備していきたいと思います。また全員集合しましょうね！

生活支援員 赤堀 美穂



◎安生拓也さん

安生さんは、ダンスが得意です。音楽に合わせて軽やかなステップを披露してくれます。生産活動では、木工作業に取り組み、オスモカラーという塗料の拭き取り作業を頑張り、綺麗に仕上げ活躍されています。

Q&Aのコーナー

- 好きな給食のメニューは何ですか？
第1位ラーメン 第2位とんかつ 第3位餃子
- 趣味やお休みの日にしたいことは何ですか？
ツタヤに行き、幸楽苑でラーメンを食べる事です！！
元気いっぱいチャームな安生拓也さんの紹介でした♪

◎持木孝雄さん

持木さんは、仲間や職員とお話をするのが大好きで、楽しかったことや、好きな食べ物などをよく教えてくれ、いつもみんなを明るい気分にしてくれます。工房活動では、生活介護を利用されていて、創作活動のちぎり絵や散歩のプログラムを頑張っています。

Q&Aのコーナー

- 好きな給食のメニューは何ですか？
第1位チャーハン 第2位ピラフ 第3位鯖の塩焼き
- 趣味やお休みの日にしたいことは何ですか？
イオンやヤオハンに買い物に行くのが楽しみです！！
とても優しく、笑顔が似合う持木孝雄さんの紹介でした♪

生活支援員 佐々木竜也

利用者紹介



内部研修会

3月29日には全職員を対象にした、虐待防止委員会及び身体拘束等適正化委員会との合同開催で内部研修会を行いました。内容としては、虐待防止委員会より、他県で実際にあった虐待案件で、職員が実態を証言した「なぜ虐待が繰り返されたのか」について、身体拘束適正化委員会からは「スピーチロックと虐待」についての2本の動画を視聴しました。動画視聴後はグループワークでの動画の感想や意見交換を行い、各グループから発表をしてもらいました。

グループの意見として

- ・職員を1人にしない支援 ⇒ チームとしての支援
- ・ストレスを少なくしていく ⇒ 心に余裕を持つ
- ・記録をきちんとつける ⇒ 風通しの良い職場づくり

などができました。

今回の研修を通して、研修を毎年開いていくことで、新たに知る振り返ることができ、意識して支援に繋げていけると思いました。

サービス管理責任者 渡邊 啓之



買って応援プロジェクト

●皆さんの好意に支えられて ～買って応援プロジェクト～ ●

毎度、グループホーム立ち上げプロジェクト【買って応援】の趣旨にご賛同・ご支援を頂き、誠にありがとうございます。この活動の始まりは、利用者が地域で家庭から自立して生活するグループホームに何かできることはないかという思いからでした。ゆーあい工房では、イベント担当の職員が中心となり、イベントでペットボトルを販売した収益やフリーマーケットに出品して得た収益を貯めていました。

グループホーム整備職員部会では、【買って応援】と称し、計5回の物販を行わせて頂きました。第1弾から第5弾まで、延べ180人の方にご協力頂き、寄付総額が450,000円となりました。これもひとえに皆さんの温かい気持ちの表れです。

物販を行うにあたっては、毎回どこの業者を選定するか、どんなものが好まれるかを検討しました。「いつも同じような商品。」と言われることも少なくはなかったのですが、何せ物販を行っている業者が九州方面に集中しており、沖縄や北海道・東北方面にはそういう業者がほとんどない状態。今回の第5弾で取引した業者の方にその話をしたところ、九州で発展した文化で発祥は宮崎県。スポーツ等で上位大会に駒を進めた時、九州から大会の会場まで行く費用を賄うため、各チームのOBや家族・近隣の企業協力を仰いだことがスタートだと伺いました。

話は脱線してしまいましたが、皆さんに支えて頂き、買って応援プロジェクトが有意義なものになったことに改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

相談支援員 川島 真智子



活動紹介 ～木工作業～

皆さんは、木工作業で制作している木工品をどこで購入できるかご存じですか？栃木市内にあるショップゆーあいの他、なすび食堂、道の駅にしかた、佐野市にある道の駅どまんなかたぬま、宇都宮市にある福祉プラザ内のショップ、東京都内スカイツリータウンにあるとちまるショップ等に置かせて頂き、販売しています。

今回は、さのまるグッズを中心に置かせて頂いている道の駅どまんなかたぬまのスタッフさんの声をきっかけに生まれた『さのまるうちわ』をご紹介します。

どまんなかたぬまへさのまるグッズを定期的に納品する中で「さのまるくんグッズで何か新しい商品作れないかしら。」とスタッフさんからご提案頂きました。「これからの季節に活躍するうちわはどうか？」と中村施設長からもアドバイスを頂き、どんな背景、さのまるくんの表情がベストなのか吟味。試行錯誤しながら、花火・おさかな・ゆめかわの3種が誕生しました。

ご提案くださったスタッフさんからも「かわいい！」と言って頂き、皆さまからご好評いただいております。「うちわだけど『センス』いいね!!」と木工作業チームも自画自賛(笑)しながら、現在続々製作中です。

これからも、お客様、関係スタッフさんからの声に耳を傾け、皆さまが笑顔になれる製品づくりを心掛け邁進していきたいと思っております。

生活支援員 大久保美穂



活動紹介 ～菓子作業～

◎新しい販売先が増えました

ご縁があって5月より、足利銀行栃木支店の行員様むけにパンの移動販売がはじまりました。「お昼にパンが食べたい」という声にこえ、行員さんのお昼休みの時間にあわせて、月に1度販売を行っています。銀行の裏口から入り、行員さんの通る通路で販売しています。売り上げも好調で、今後たくさんの人に美味しいパンが届けられるよう菓子工房みんなで頑張っているところです。

◎『贈答用こがしばん』販売中

ゆーあいの人気商品「こがしばん」が可愛いジッパー付きの袋に入って販売中です。始まりは、朝日生命栃木支店様からの特別注文。「ちょっとしたプレゼントに使えるお菓子が欲しい」という要望にこえ提案したところ、好評いただき、せっかくなのでイベント販売で試してみると、こちらも好感触。通常のこがしばんより、量は少なめで値段は150円です。これからもイベント販売等に積極的に出していく予定です。

「こがしばん」という製品は、ほとんどの工程を仲間がたずさわれる仲間の貢献度が1番高い製品です。菓子工房の仲間の自信作ですのでたくさんの人に届けたいと思っています。皆様からのたくさんの注文、お待ちしております！

工房では「こがしばん」と言ったら、今までの190円の製品を指しますので、ご注文の際は『贈答用こがしばん』とご注文ください。

生活支援員 川又裕子



活動紹介 ～受注作業～

「箱折り」これは、私が入職した時には既に行われていた作業なので、10年以上の関わりになります。以前は箱折りと同時に、異なる作業も行っていました。これまで様々な作業を行ってきましたが、今年の12月から箱折りのみを行うようになりました。受注メンバーは昔から行っていた作業なので、手慣れたものです。むしろ、職員が内容を忘れてしまうので助けられています。

そして、時は過ぎ、令和6年度4月。ゆーあい工場の作業時間が30分増えることになりました。たった30分ですが、1週間で考えると、半日程の作業時間が増えたことになります。今まで以上に箱を折る時間が増え、どれくらいの量になるのかと思ひ、6月の生産数(納品数)を計算してみました。結果、13,460個でした。受注作業のメンバーお疲れ様です。

箱の種類も様々で、箱の仕切りや中敷きが多いものもあります。「なんだこれ！面倒な箱だな！」なんて言ったり、箱の向きを間違えて梱包して全部(1000個以上)やり直したり。なんだかんだで、今日も皆で箱折りをしています。

生活支援員 荒川直人



活動紹介 ～生活介護～

今回は、生活介護事業の仲間たちが行っている作業の紹介をします。昨年度の4月から新しく始まりました、大平ぶどう団地沿いにある「株式会社アータマ」さんのスポイト作業です。他施設で行っていたところを職員が見て、工場の仲間にもできるかも、ということで始まりました。

この作業は、バリが付いた状態のスポイトのバリをはがして、規定の単位に数を数えてまとめるお仕事です。スポイトには医療用だったり、採尿用や香水の配合に使うようなタイプだったり様々な形があり驚きました。

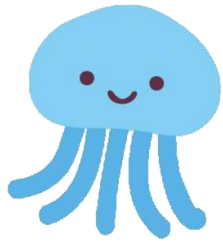
仲間たちはひたすらはがし、ひたすら数えていきます。目に見えて仕事が進むことが楽しくて、「やりたい」気持ちがあり、集中して取り組んでいます。また、終わらない仲間の手伝いをしたり、「終わりました、見てください」と報告が必要だったり、お互いに声を掛け合いながら協力して取り組む仕事として進めています。少しずつではありますが、みんなでやろうという気持ちが出てきているように感じています。

アータマさんは障がい者施設にとっても理解があり、協力してくれる会社です。

これからも声を掛け合いながら、協力して頑張っていきたいと思います。

生活支援員 赤堀美穂





1~6月行事いろいろ



1月6日
初詣



6月29日
ボウリング



2月24日
白鳥



3月16日
お花見



『9年間、大変お世話になりました。これからも益々お元気で』
6月23日を以て、理事長「岩川和男氏」が辞任されました。
これまで、ゆーあい工房となごみの家の利用者の幸せを第一に考えた法人運営にご尽力を
いただき、大変お疲れ様でございました。
いつも絶えず、温かいご指導を賜りましたこと、役職員一同、感謝を申し上げます。

【6月8日・理事会にて】

【6月23日・評議員会にて】



【6月21日・感謝の会】

ゆーあい工房となごみの家の利用者による「感謝の会」を開き、お別れをしました。
いつもそばで見守って下さり、ありがとうございました。



◎新理事長就任

『これからどうぞよろしくお願いいたします。』（令和6年6月23日）

6月23日に開催の臨時理事会において、理事の互選により「理事長」に「岡田武夫(おかだたけお)氏」が就任されました。

また、「理事」として「橘唯弘(たちばなただひろ)氏」が就任されました。

今後の法人運営にご尽力賜りますようお願い申し上げます。



『ゆーあい工房利用者が歓迎会を行いました』（令和6年6月28日）

岡田武夫新理事長をお迎えする「歓迎会」を行いました。日頃から馴染みのある岡田新理事長のごあいさつをみんな笑顔で聞いていました。これから、どうぞよろしくお願いいたします。



◎第2グループホームに「冷蔵庫」が寄贈されました

この度「日立グローバルライフソリューションズ労働組合様」並びに「日立ジョンソンコントロールズ株式会社労働組合様」より、今年度建設予定の第2グループホームで使用できるようにと「日立冷蔵庫(400ℓ)」の寄贈を受けました。

このような取り組みは、若手社員が早朝に行うカンパ募金の一部を利用して、毎年福祉団体等に日立の電化製品を寄付するというもので、既に40年以上続けられているボランティア活動の一環であると同い、本当に感心させられました。

4月26日には、ゆーあい工房ホールにて「寄贈式」を執り行いました。式典に、日立ジョンソンコントロールズ株式会社労働組合小笠原知英執行委員ほか若手社員3名のご臨席を賜りました。運び込まれた冷蔵庫は、一旦倉庫に納めましたが、来春には新グループホームで大切に使用させていただきます。誠にありがとうございます。



職員人事異動について**◎職員の採用**

熊倉 美子氏(6月1日付・ゆーあい工房支援員)

落合 秀子氏(6月1日付・共同生活援助事業所なごみの家・世話人)

どうぞよろしくお願ひします。

◎法人役員の新任について

新たに2名が法人役員に就任しました。法人運営にご協力賜りますようお願い申し上げます。

評議員山口 真右(やまぐちしんすけ)氏

(令和6年3月26日～令和7年度定時評議員会終結の時まで)

理事橋 唯弘(たちばなただひろ)氏

(令和6年6月23日～令和7年度定時評議員会終結の時まで)

◎お誕生

支援員・磯部みよ子氏第3子(男児) 6月18日誕生

健やかにご成長されますように♡

◎お悔やみ

評議員・小倉治雄氏(享年81才) 2月1日逝去

評議員・吉澤洋介氏御母堂・吉澤トク様(享年88才)6月5日逝去

ご冥福をお祈り申し上げます

◎寄付金報告 ご支援に深く感謝いたします。**●法人第2グループホーム建設準備のため**

岩川 和男様 100,000円

新村 文枝様 30,000円

ゆーあい工房職員親睦会様 8,170円

匿名様 20,000円

買って応援【第6弾】様 74,016円

●ゆーあい工房事業のため

ゆーあい工房保護者会様 50,000円

ゆーあい工房友の会様 50,000円



社会福祉法人うまぐりの里

法人本部、障害福祉サービス事業所ゆーあい工房

相談支援事業所めだか

〒328-0033 栃木市城内町2-62-14

TEL 0282-25-4001

Fax 0282-25-1575

E-mail yu-aikoubou@cc9.ne.jp

ホームページURL: <https://www.umagurinosato.com/>

共同生活援助事業所なごみの家

〒329-4412 栃木市大平町北武井655-3

TEL・Fax 0282-21-7800

●編集後記●

今夏は、7月中に隣の佐野市で気温「41度」超えが記録されましたが、甲子園初出場を勝ち取った石橋高校球児からは間もなく更に「熱い夏」が届けられることでしょう。

関係各位、涼んだ環境でどうぞお健やかにお過ごしください。

●編集スタッフ●

うまぐりの里常務理事 中村 君枝

ゆーあい工房支援員 川島真智子

ゆーあい工房支援員 佐々木竜也

ゆーあい工房事務担当 長澤 朋恵